

こんな活動が行われています

事例 1

「えがおまもり隊」の活動を中心に取組んだ事例

地域のお年寄りの皆さんを中心に、子どもたちの安全を見守っていただくボランティアを募集し、下段「活動の概要」にあるような取組みを行った。

この取組みの中では、様々なふれあいの場を設定することにより、ボランティアの方と子どもたちのかかわりを多くし、子どもたちの安全確保はもとより、子どもたちの豊かな心の成長と、人と人とのふれあいがある地域づくりをめざそうとしています。

「えがおまもり隊」活動概要

1 活動内容

- (1) 子どもの登校時間帯、下校時間帯に通学路に出ていただき、子どもたちの安全を守っていただく。
- (2) 交通安全指導、挨拶などの声かけも、あわせてしていただく。

2 パトロール時間、回数等

- (1) 子どもたちの、登校時(7:20~8:00)、下校時(15:00~16:40)の都合のつく時間帯に、可能な範囲で通学路に出ていただく。
- (2) 都合のつく日に、週1~2回願います。
- (3) 健康を第一に、無理をしない範囲でやっていただく。

3 学校から配布するもの

- 背中に学校名の入った黄緑色のジャンパー
- 黄色の横断旗

4 ボランティア・パトロール隊になっていただく方

- お年寄りの皆さんを中心にお手伝いをお願いします。
- お年寄りの方の希望者が少ない場合、その他の地域の皆さんをお願いします。

5 活動の概略

- (1) 結成式を行い、全校児童の前で、「えがおまもり隊」の方を紹介する。
- (2) 毎月一回、学校に来ていただいて情報交換を行う。
- (3) 「お年寄りとのふれあいルーム」を設置し、ボランティア・パトロール隊の本部とする。ふれあいルームには、いつでも来ていただけるようにする。

6 その他

- (1) ボランティアの方には、ボランティア保険をかける。
- (2) 不審者の出没情報があったときには、ボランティア・パトロール隊の方にも連絡する。
- (3) ボランティアは、随時、募集していく。45名程度を目安とする。
- (4) ボランティア・パトロール隊の名称を「えがおまもり隊」とする。